

Patent Family Member Query - Results

CC Number	Publication Date
-----------	---------------------

JP 2002047874

JP 2002047874 A 20020215

JP 2001073651

JP 2001073651 A 20010321

Text format

Change query

New query

A

★SHIN- Q48 2002-263720/31 ★JP 2002047874-A

Window screen has frame installed with net and lock, hingably attached to external frame fixed to sliding door of window

SHINKO KENSETSU KK 2000.08.01 2000JP-232803

(2002.02.15) E06B 9/52, E06B 9/01

Novelty: A frame (4) installed with a net (42) and a locking mechanism (43) is openably and closably attached to an external frame (3) through a hinge (5). The external frame is fixed to a sliding door (21) of a window.

Use: For sliding doors of windows.

Advantage: Prevents unauthorized entry of persons and entry of insects through the opening in the sliding door of the window due to provision of the frame provided with the net and the lock mechanism. Removal of the frame with the net is enabled, as the frame is detachably fixed to the external frame. The window screen is left open at the time of fire by releasing the lock mechanism.

Description of Drawing(s): The figure shows the sliding door in closed condition and in open condition.

External frame 3

Frame 4

Hinge 5

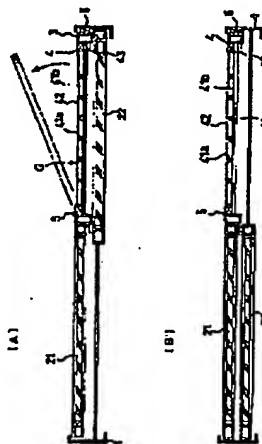
Sliding door 21

Net 42

Locking mechanism 43

(4pp Dwg.No.3/3)

N2002-204930



(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-47874

(P2002-47874A)

(43)公開日 平成14年2月15日(2002.2.15)

(51)Int.Cl.	識別記号	FI	キーワード(参考)
E06B	9/52	E06B	A 2E020
	9/01		K
			J

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全4頁)

(21)出願番号 特願2000-232803(P2000-232803)

(22)出願日 平成12年8月1日(2000.8.1)

(71)出願人 500356289

新光建設株式会社

大阪府羽曳野市野332番地

(72)発明者 上野 隆範

大阪府羽曳野市野332番地 新光建設株式
会社内

(74)代理人 100102211

弁理士 森 治 (外1名)

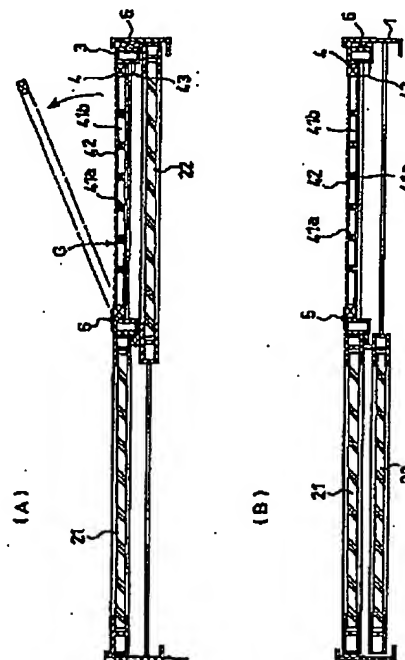
Fターム(参考) 2E020 BA02 BC06 CA04 EA05

(54)【発明の名称】 面格子付固定網戸

(57)【要約】

【課題】 引違式の引き戸に適用され、面格子と網戸の機能を備えることにより、換気のために引違式の引き戸を開放した状態でも、人の不法侵入と、害虫などの侵入を阻止でき、かつ、既設の窓、出入口等の開口枠に、簡単に取り付けられ、かつ不要時には取り外しもできるようにした面格子付固定網戸を提供すること。

【解決手段】 窓あるいは出入口等の開口枠1の引違式の外側の引き戸21の部位に、外側の引き戸21を締め殺し式に装着、固定する固定用外枠3を備え、この固定用外枠3に面格子4を螺番5を介して開閉可能に取り付け、面格子4に添って網体42を張設するとともに、面格子4の施錠機構43を配設して構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 引違式の引き戸に適用される面格子付固定網戸において、引違式の外側の引き戸の開口枠に、外側の引き戸を填め殺し式に装着、固定する固定用外枠を備え、該固定用外枠に面格子を蝶番を介して開閉可能に取り付け、面格子に添って網体を張設するとともに、面格子の施錠機構を配設したことを特徴とする面格子付固定網戸。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、面格子付固定網戸に関し、特に、引違式の引き戸に適用され、面格子と網戸の機能を備えることにより、換気のために引違式の引き戸を開放した状態でも、人の不法侵入と、害虫などの侵入を阻止でき、かつ、既設の窓、出入口等の開口枠に、簡単に取り付けられ、かつ不要時には取り外しもできるようにした面格子付固定網戸に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、引違式の引き戸を用いた窓や出入口の開口枠には、害虫の侵入を阻止するために、引き戸のさらに外側の開口枠に網戸を開閉可能に付設するようにしている。また、これとは別に、人の不法侵入を阻止する防犯のために、開口枠の外側に方に面格子を設置するようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、賃貸アパート等においては、網戸は付設されていても、面格子が設置されていない場合が多く、このため、換気のために引き戸を開放した状態にすることが多い夏期の期間等においては、防犯上問題があり、事実、外出時や夏季の就寝時に引き戸を開放した状態にすることに起因して、多くの犯罪が発生している。

【0004】また、開口枠に面格子を設置するようになると、火災時等の逃げ道が全くなくなる場合には、面格子を取り付けることは適当ではなく、また、出入口の開口枠には、そもそも面格子は取り付けられないという制約があった。

【0005】本発明は、上記従来の網戸及び面格子の有する問題点を鑑み、引違式の引き戸に適用され、面格子と網戸の機能を備えることにより、換気のために引違式の引き戸を開放した状態でも、人の不法侵入と、害虫などの侵入を阻止でき、かつ、既設の窓、出入口等の開口枠に、簡単に取り付けられ、かつ不要時には取り外しもできるようにした面格子付固定網戸を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の面格子付固定網戸は、引違式の引き戸に適用される面格子付固定網戸において、引違式の外側の引き戸の開口枠に、外側の引き戸を填め殺し式に装着、固

定する固定用外枠を備え、該固定用外枠に面格子を蝶番を介して開閉可能に取り付け、面格子に添って網体を張設するとともに、面格子の施錠機構を配設したことを特徴とする。

【0007】この面格子付固定網戸は、引違式の外側の引き戸の開口枠に、外側の引き戸を填め殺し式に装着、固定する固定用外枠を備え、この固定用外枠に面格子を蝶番を介して開閉可能に取り付け、面格子に添って網体を張設するとともに、面格子の施錠機構を配設するようにしているので、換気のために引違式の引き戸を開放した状態でも、人の不法侵入と、害虫などの侵入を阻止でき、かつ、既設の窓、出入口等の開口枠に、簡単に取り付けられ、かつ不要時には取り外しもできる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の面格子付固定網戸の実施の形態を図面に基いて説明する。

【0009】図1～図3に、本発明の面格子付固定網戸の一実施例を示す。この面格子付固定網戸Gは、2枚の引き戸21、22を備えた引違式の引き戸2に適用されるもので、窓あるいは出入口等の開口枠1の引違式の外側の引き戸21の部位に、外側の引き戸21を填め殺し式に装着、固定する固定用外枠3を備え、この固定用外枠3に面格子4を蝶番5を介して開閉可能に取り付け、面格子4に添って網体42を張設するとともに、面格子4の施錠機構43を配設して構成するようにする。

【0010】この場合において、面格子付固定網戸Gは、その固定用外枠3を、内側の引き戸22を全開するように開いた状態で、外側の引き戸21に接するようにして開口枠1内に装着し、ビス止め等にて開口枠1に固定するようにする。なお、固定用外枠3を開口枠1へ固定するに当たっては、引き戸2と同様に、室外側から簡単に取り外せないようにすることはいうまでもない。

【0011】このため、固定用外枠3は、引き戸21、22とはほぼ同じ外形状を有し（この場合、必要に応じて、摺動部を形成し、大きさを調節できるようにすることも可能である。）、かつ、外側の引き戸21と略同じ厚みを有し、固定用外枠3の表面が、外側の引き戸21と略面一か、それより内側となるように形成するようにする。

【0012】なお、固定用外枠3と開口枠1又は外側の引き戸21との間に隙間を生じる場合には、適宜の隙間充填部材6を配設することができる。

【0013】固定用外枠3は、特に限定されるものではないが、防犯上所定の強度を備えた、アルミニウムを押し出し成形した角パイプ材等の変形しにくい断面形状を有する部材を、枠形状に組み立てて構成するようにする。

【0014】この固定用外枠3内に、蝶番5を介して開閉可能に取り付ける面格子4は、面格子4を閉じたとき、固定用外枠3との間に隙間が生じることがないように

外形状を有し(この場合、固定用外枠3と同様、必要に応じて、摺動部を形成し、大きさを調節できるようにすることも可能である。)、かつ、外側の引き戸21と略同じか、それより薄い厚みを有し、面格子4の表面が、外側の引き戸21と略面一か、それより内側となるように形成するようにする。

【0015】この場合、面格子4は、外開きに構成することが望ましいが、開口枠1に雨戸(図示省略)が付設される場合等には、内開きとし、雨戸の開閉操作を室内側から行えるようにすることもできる。

【0016】面格子4は、特に限定されるものではないが、固定用外枠3と同様、防犯上所定の強度を備えた、アルミニウムを押し出し成形した角パイプ材等の変形しにくい断面形状を有する部材を、縦棧41aと横棧41bとして、それぞれ所定間隔に配列し、格子形状に組み立てて構成するようにする。

【0017】面格子4には、面格子4の外表面又は内表面に添って、害虫などの侵入を阻止するための網体42を張設する。

【0018】また、面格子4に配設する施錠機構43は、特に限定されるものではないが、室外側から簡単に解錠できない構造のものを採用することはいうまでもない。

【0019】さらに、面格子4には、室内側から面格子4の開閉操作が簡易に行えるように、必要に応じて、把手(図示省略)を取り付けるようにしたり、換気扇(図示省略)を取り付けることができる。

【0020】次に、この面格子付固定網戸Gについて、取付方法及び作用を説明する。開口枠1の大きさに合わせて形成した面格子付固定網戸Gの固定用外枠3を、引き戸2の開口枠1の引違式の外側の引き戸21の部位に、内側の引き戸22を全開するように開いた状態で、外側の引き戸21に接するようにして装着し、ビス止め等にて固定するようにする。この場合、固定用外枠3には、面格子4を、予めあるいは固定用外枠3を固定した後、蝶番5を介して開閉可能に取り付けるようにする。

【0021】このように、引き戸2の開口枠1の引違式の外側の引き戸21の部位に、固定用外枠3を装着、固定することにより、外側の引き戸21は締め殺し状態に固定されるが、一方、内側の引き戸22は、自由に開閉できる。このため、この状態で、内側の引き戸22を開

放すると、この開口部には面格子4が配設されることとなるため、換気のために引違式の引き戸2の内側の引き戸22を開放した状態でも、人の不法侵入と、害虫などの侵入を阻止でき、安全性と利便性の高いものとなる。

【0022】

【発明の効果】本発明の面格子付固定網戸によれば、引違式の外側の引き戸の開口枠に、外側の引き戸を締め殺し式に装着、固定する固定用外枠を備え、この固定用外枠に面格子を蝶番を介して開閉可能に取り付け、面格子に添って網体を張設するとともに、面格子の施錠機構を配設するようにしているので、換気のために引違式の引き戸を開放した状態でも、人の不法侵入と、害虫などの侵入を阻止でき、かつ、既設の窓、出入口等の開口枠に、簡単に取り付けられ、かつ不要時には取り外しもできる。そして、この面格子付固定網戸は、設置しても、面格子の施錠機構を解錠することにより、面格子を開放することができ、火災時等の逃げ道がなくなることがなく、また、このため、出入口の開口枠にも取り付けることができ、安全性と利便性の高いものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の面格子付固定網戸の一実施例を示す外観斜視図である。

【図2】同(A)は平面断面図、(B)は側面断面図である。

【図3】本発明の面格子付固定網戸を窓枠に取り付けた使用状態を示し、(A)は引き戸を閉じた状態、(B)は引き戸を開いた状態を示す平面断面図である。

【符号の説明】

G 面格子付固定網戸

1 開口枠

2 引違式の引き戸

21 外側の引き戸

22 内側の引き戸

3 固定用外枠

4 面格子

41a 縦棧

41b 横棧

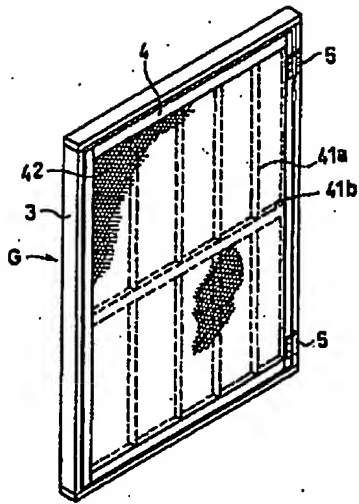
42 網体

43 施錠機構

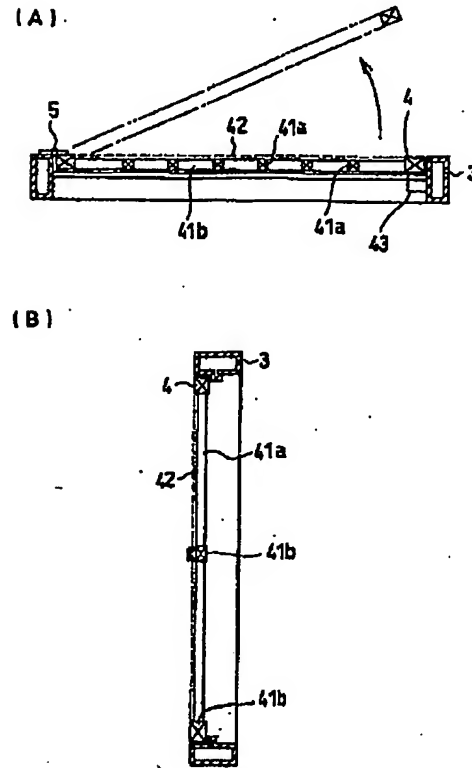
5 蝶番

6 隙間充填部材

【図1】



【図2】



【図3】

